

S I D R

滋賀県感染症情報

SHIGA Infectious Diseases Report

《週報》

第3巻第33号

第33週(8月11日～8月17日)

発行年月日:平成15年(2003年) 8月 22日

発行:滋賀県立衛生環境センター内

滋賀県感染症情報センター

電話 077-537-3051 FAX 077-534-3936

1) 全数報告の感染症(1類～4類)

感染症類型	疾患名	報告数 (33週)	累積報告数		平成14年報告数	
			滋賀 (33週)	全国 (33週)	滋賀	全国
1類感染症	報告なし	0	0	0	0	0
2類感染症	細菌性赤痢	0	2	272	6	693
	パラチフス	0	0	22	1	33
3類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	0	7	1266	14	3132
4類感染症	アメーバ赤痢	0	2	318	6	453
	エキノкокクス症	0	0	13	1	9
	オウム病	0	1	33	0	55
	急性ウイルス性肝炎	0	3	499	2	915
	クロイツフェルト・ヤコブ病	0	3	74	2	146
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	0	0	38	1	90
	後天性免疫不全症候群	0	6	541	6	888
	ツツガムシ病	0	1	134	0	329
	梅毒	0	1	307	4	561
	破傷風	0	1	41	0	105
レジオネラ症	0	1	86	1	166	
指定感染症	重症急性呼吸器症候群(SARS)	0	0	0	0	0

* 平成14年報告数の全国報告数は、滋賀県で報告された疾患を対象としています。

* 指定感染症:患者が発生した場合に、都道府県知事の判断により、まん延防止のための迅速な対応が可能になります。

2) 定点把握の対象となる4類感染症

疾患名	定点当たり患者数(県・保健所管内別)								前週との比較(定点当たり患者数)
	県	大津	草津	水口	八日市	彦根	長浜	今津	
インフルエンザ	0	0	0	0	0	0	0	0	
咽頭結膜熱	0.63	1.29	1.50	0	0.40	0	0	0	
A群溶連菌咽頭炎	0.31	0	0.67	0	1.20	0	0	0	
感染性胃腸炎	0.75	1.57	2.00	0.25	0	0	0	0	
水痘	0.88	0.29	1.67	0.75	0.40	2.00	0.50	0.50	
手足口病	0.78	0.57	1.67	0	0.20	1.75	0.25	1.00	
伝染性紅斑	0.16	0.43	0	0.25	0	0.25	0	0	
突発性発疹	0.63	1.00	0.83	0.75	0	0.50	0.50	0.50	
百日咳	0	0	0	0	0	0	0	0	
風疹	0	0	0	0	0	0	0	0	
ヘルパンギーナ	1.50	2.86	2.00	0.25	0.20	0.25	1.75	3.00	
麻疹	0.03	0.14	0	0	0	0	0	0	
流行性耳下腺炎	0.56	0.29	1.17	0.50	0.60	0.50	0.25	0.50	
急性出血性結膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	
流行性角結膜炎	1.14	0	2.00	0	3.00	1.00	0	2.00	
急性脳炎	0	0	0	0	0	0	0	0	
細菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	
無菌性髄膜炎	0.86	0	0	2.00	0	0	4.00	0	
マイコプラズマ肺炎	0.43	0	0	0	0	0	3.00	0	
クラミジア肺炎	0	0	0	0	0	0	0	0	
成人麻疹	0	0	0	0	0	0	0	0	

全国集計などの詳細な集計結果は、国立感染症研究所感染症情報センターのホームページ(<http://idsc.nih.go.jp/index-j.html>)において公表されています。

0 0.5 1 1.5 2 2.5 3
定点当たり患者数

3) 今週のトピックス

無菌性髄膜炎、流行性角結膜炎の発生は増加傾向 手足口病、ヘルパンギーナの発生は減少傾向

定点把握の対象となる4類感染症の発生状況を先週と比較すると、水痘、突発性発疹、流行性角結膜炎、無菌性髄膜炎等の定点当たり患者数が増加しています。A群溶連菌咽頭炎、感染性胃腸炎、手足口病、ヘルパンギーナ、流行性耳下腺炎等の定点当たり患者数は減少しています。

咽頭結膜熱については、定点当たり患者数は減少していますが、**大津、草津**保健所管内においては、先週に引き続き多くなっています。

手足口病については、先週に引き続き減少傾向を示しており、昨年の同時期より少ない定点当たり患者数となっています。

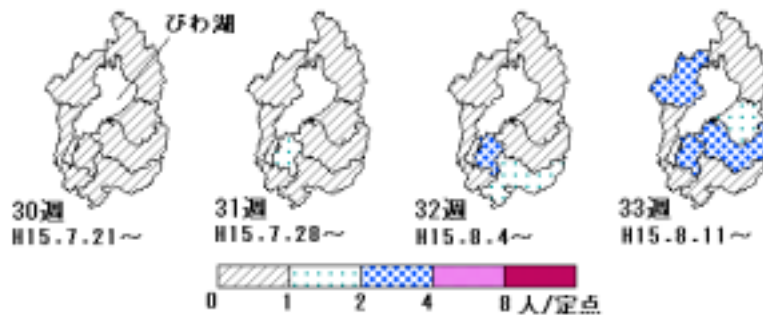
ヘルパンギーナについては、先週と比較すると定点当たり患者数はかなり減少していますが、**大津、今津**保健所管内においてはそれぞれ2.86、3.00と多くなっています。

流行性角結膜炎については、**八日市**保健所管内の定点当たり患者数がやや多くなっています。

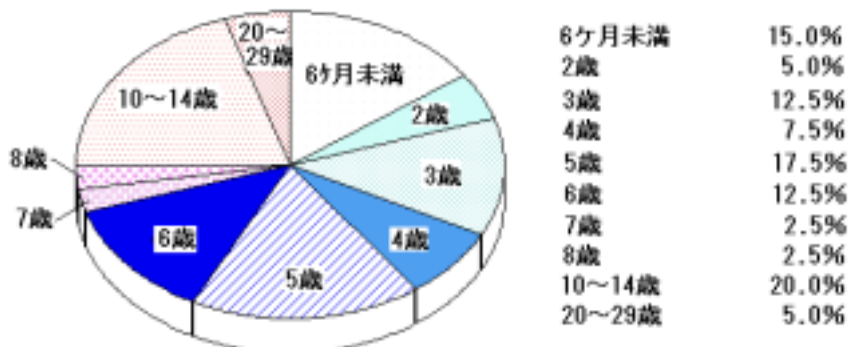
無菌性髄膜炎については、**長浜**保健所管内の定点当たり患者数が多くなっています。

* 流行性角結膜炎の週別発生状況および無菌性髄膜炎の年齢別発生状況は下記のグラフのとおりです。

流行性角結膜炎の週別発生状況(平成15年第30週～第33週)

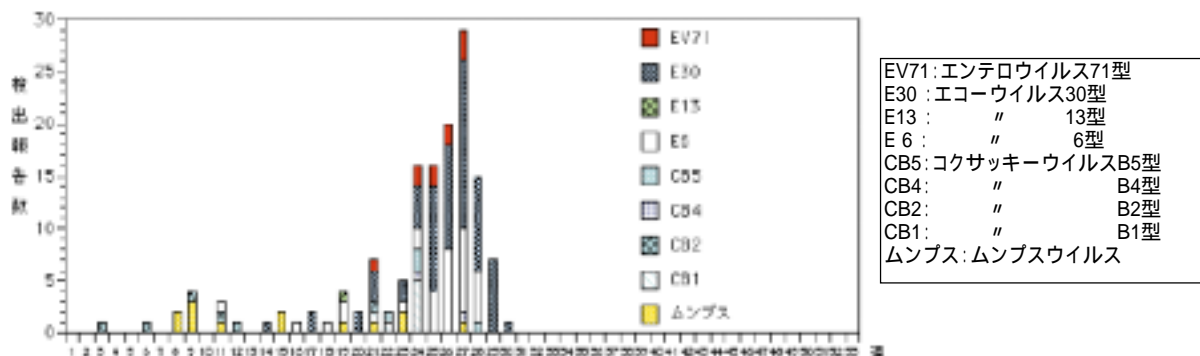


無菌性髄膜炎の年齢別発生状況(平成15年第1週～平成15年第33週)

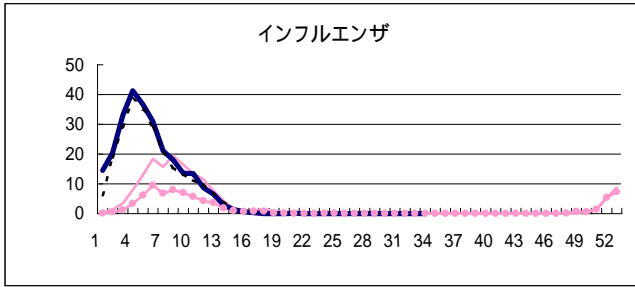


無菌性髄膜炎患者からの主なウイルス分離報告数(病原微生物検出情報:2003年8月8日現在報告数より)

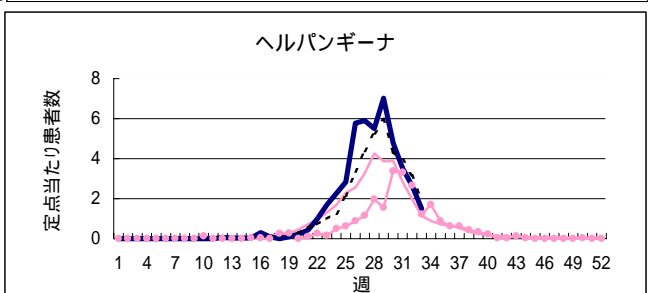
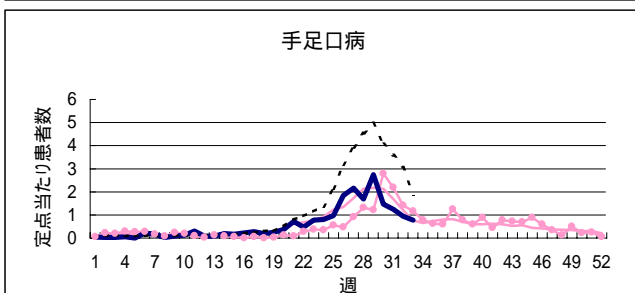
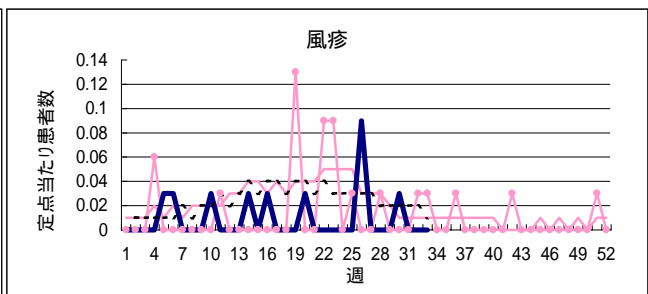
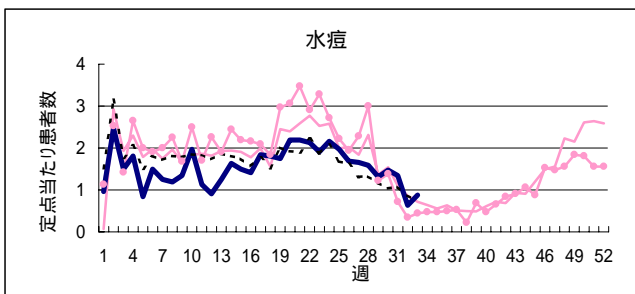
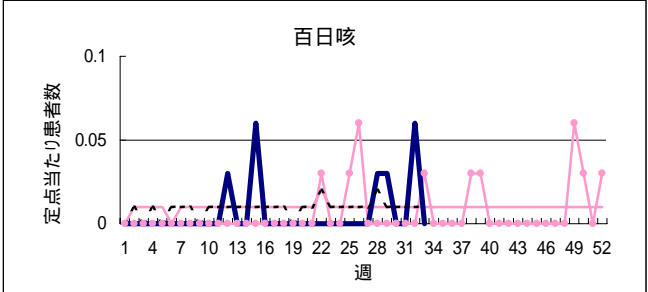
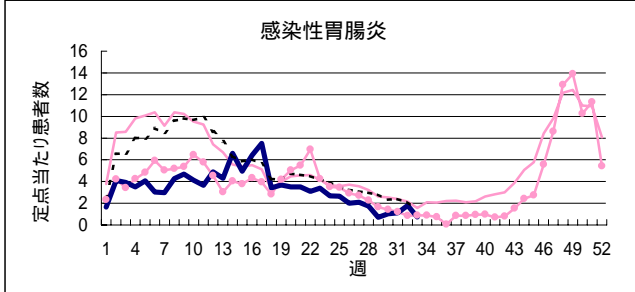
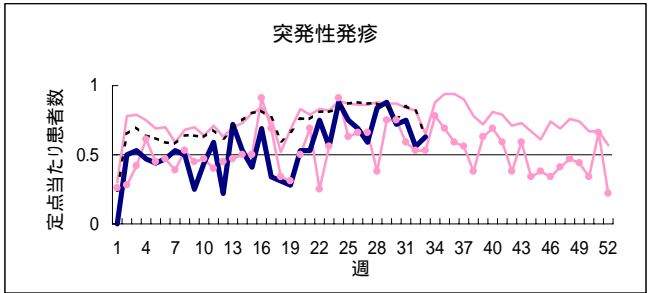
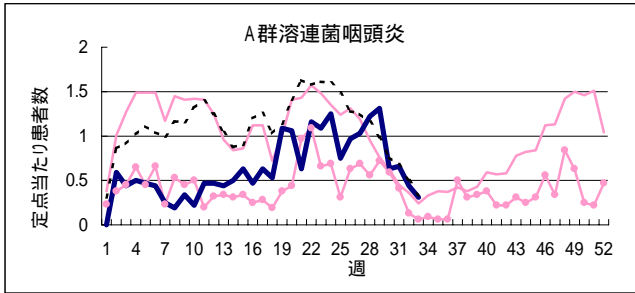
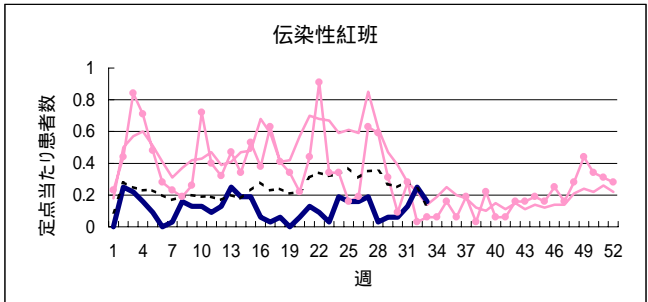
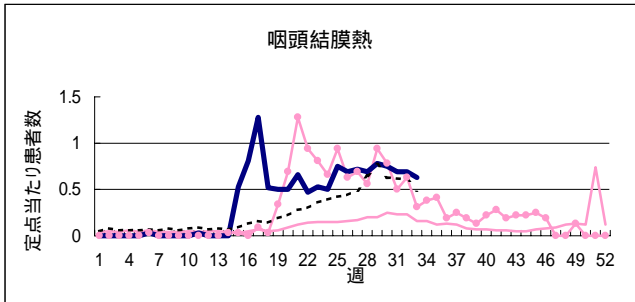
- 各都道府県市の地方衛生研究所からの検出報告数を図に示したものです -



疾病別定点当たり患者数(平成15年第1週～第33週)



H14 { 滋賀 (pink line with dots)
 全国 (light pink line)
 H15 { 滋賀 (solid blue line)
 全国 (dotted black line)



疾病別定点当たり患者数(平成15年第1週～第33週)

H14 〔 滋賀 ●●●●●●
 全国 ————
 H15 〔 滋賀 ————
 全国 - - - - -

